

【スポーツ栄養学科】卒業生インタビュー

高校生の皆さんこんにちは!
今回はスポーツ栄養学科を卒業後、
栄養士として働いている先輩に
インタビューをしました!

食が好き、栄養士の仕事に興味のある方は、ぜひ先輩の経験をもとに進路選びの参考にしてください😊

名前:大友秀哉さん
卒業年度:令和元年度
(2019年度)
勤務先:老人ホーム
職種:栄養士(6年目)
出身:福島県



#学科概要はこちらから
#バックナンバーはこちらから



Q1.現在のお仕事について教えてください。

現在は、特別養護老人ホームや有料老人ホームでお食事提供を行うほか、所属しているエリアの運営業務に携わっています。

Q2.今の仕事のどんなところにやりがいを感じますか?

お客様からお食事が「おいしかった」といったお声をいただいたり、施設の職員の方々からの感謝の言葉をいただいたときに、とてもやりがいを感じます。

Q3.在学中に印象に残っている授業や実習はありますか?

印象に残っているのは調理学実習です。献立作成から発注、調理まで、食事提供に必要な基本を一通り学ぶことができ、現在の仕事にも大いに活かされています。

Q4.仙台大学を選んだ理由を教えてください。

体育大学ならではの「スポーツ」と「食事」の関連性を深く学ぶことができると感じたことが、仙台大学を選んだ理由です。

🌸最後に高校生へメッセージをお願いします!🌸

将来の夢が決まっている人も、まだ決まっていない人もいます。そんな中でも、普段何気なく食べている”食事“の大切さを学ぶことができるのが、仙台大学スポーツ栄養学科です。少しでも興味を持っていただけたら嬉しいです。高校生の貴重な時間を有意義なものにして、残りの高校生活を全力で楽しんでください!

